

武豊町地域公共交通会議 第24回 議事録

日時：平成28年12月20日（火）

14：30～16：30

場所：全員協議会室

○事務局

- ・委員の皆様方には大変お忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。
- ・ただいまから「武豊町地域公共交通会議」の第24回会議を開催させていただきます。
- ・本日、事前にお送りしました資料をお持ちでない方、ございますか。
- ・それでは、会議資料の次第に従いまして、取り進めさせていただきます。はじめに、開会にあたりまして、会長であります町長の初山からごあいさつさせていただきます。

1. 会長あいさつ

○初山会長（武豊町長）

- ・こんにちは。本日は、ご多忙の中、出席いただきありがとうございます。また、平素は町行政や地域公共交通会議等に対して、ご協力をいただき、感謝と敬意を申し上げます。
- ・昨年10月にルート変更しまして、利用者は前年度比3割の増加となりました。順調に運行できています。ラッピングなどの利用促進活動の効果もでてきたのではないのでしょうか。
- ・利用促進友の会さんが中部運輸局長から表彰を受けました。大変栄誉のある表彰です。引き続き友の会の活用について期待したいと思います。
- ・公共交通は、皆さんの生活に定着し、根付いてきたと理解しています。
- ・また、今年度10月から交通事業者が知多乗合からレスクルに変わりました。安全運行をお願いしたいと思います。
- ・周辺では高齢者の自動車運転による交通事故が増えております。公共交通は、事故防止につながりますので、利便性をPRして、町民の足としての利用を促していきたいと思えます。
- ・本日の議事については、報告事項1件、議案2案、その他4件を予定しています。慎重なご議論をお願いします。よろしく願いいたします。

○事務局

- ・新しく委員になられた方に委嘱状をお渡します。
- ・冒頭の挨拶にありましたように、交通事業者が知多乗合(株)からレスクル(株)に交代しました。委嘱状をお渡します。

<委嘱状授与>

○事務局

- ・次に、本日の出欠状況について報告します。欠席委員は愛知県バス協会古田委員、愛知県半

田警察署八木委員が欠席との連絡を受けています。

- ・また、中部運輸局愛知運輸支局の古橋委員代理として奥村委員代理が、愛知県振興部交通対策課の桑原委員の代理で山口委員代理が、愛知県知多建設事務所の井上委員の代理で富田委員代理に出席いただき、委任状の提出もを受けています。
- ・過半数を超える委員の方のご出席を頂いておりますので、規約に定める開会要件を満たしております。
- ・この会議は公開で行い、開催内容につきましても町のホームページなどで広くお知らせしますのでよろしくお願いたします。それでは伊豆原先生、恐れ入りますが、議事のとりまわしめよろしくお願いたします。

○伊豆原座長

- ・議事に入ります。公共交通の適切な運行に向けた有意義な意見交換をお願したい。

2. 議事

●報告事項 1 武豊町コミュニティバス・タクシーの利用実績について・・・資料 1・2

○事務局

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。利用実績の報告です、ご質問、ご意見等ありますか。

○奥村委員代理（愛知運輸支局）

- ・資料 1 の利用者数の推移について、ルート変更以降は利用者が大きく伸びている。加えて、6 月以降について特に伸びている、要因について分析しているのか。赤、青ルートの乗換利用の状況はどうか。乗り換えがあると相互の利用が増えるので。
- ・利用者の伸びの把握として、停留所別のデータがあるか。停留所別データの提供があれば議論がしやすい。
- ・資料 2 については、一部利用が少ないルートについて、単純に廃止ではないが、今後の継続、見直しについてどう考えているのか。

○事務局

- ・6 月以降の利用増は、おそらく考えられるのは、6 月から青木ヶ丘ルートの長尾墓地の停留所を増やしています。地元区からの要望があり設置した。定期利用されている方がおり、乗合タクシーからバス乗り継ぎがあったためだと思う。
- ・赤、青ルートの乗継利用については、約 5 %程度の乗り継ぎ利用されている。直近 11 月の実績では 4 7 0 0 人の利用があり、その内、乗継利用者は 2 6 0 人で、5 %と想定される。乗継方法については車内で乗継券の配布をしているが、その広報についてまた検討していきたい。
- ・停留所別の内訳及び日別の利用者数については、交通事業者から報告を受けている。土日の利用が少ない停留所は、利用促進友の会とデータを共有し、イベントができないかを検討している。

- ・資料2の乗合タクシーについては、これまで停留所の見直しを行い、その変更に関する説明会の実施や憩いのサロンに参加し利用方法を説明してきた。バス、タクシーの乗り方を説明することで、砂水ルートなど初めて利用してもらうことができている。引き続き、地域に入って利用促進活動を進めていきたい。

○伊豆原座長

- ・これだけ利用が増えたことは、うれしいことだと思う。
- ・一方で、バス停での乗降にかかる停車時間が増えてきているのではないかと。信号、交通状況による影響もあるが、乗り降りにかかる時間の影響もあり、遅延などダイヤへの影響はないか。

○事務局

- ・利用者数の増加により、遅延の報告をうけている。特に、車いす、カートを所有の方の利用がある時に、遅延する。交通事業者と相談して、遅延対策について検討しているところ。本日の議事でも時間短縮の対策を協議させていただく。

○伊豆原座長

- ・ダイヤだけの対策でなく、運転手から「少し待ってくださいね」という声掛け、配慮を期待したい。ホスピタリティに心配りをしながら、安全運転を期待したいと思う。

○小野委員（大足区長）

- ・バスの利用実績で、収入が増えている。収支状況について教えてください。

○事務局

- ・平成27年度（4～3月）の事業実績としては、約2100万円の事業費用に対して、約800万円の補助金、約300万円の運賃収入があり、残りは町から持ち出している。

○伊豆原座長

- ・15～20%ぐらいの収支状況でしょうか。28年度は、運賃収入が390万円に増えてきたので5%ぐらいの収支改善がされたということでしょうか。中部運輸局内でもこれだけの収入があるのは、あまり例がないのではないかと。
- ・路線の見直しによって、利用の増加に転じている事例が増えてきた。南知多町や尾張旭市なども同様です。すこし状況が変わりつつあるのかなと感じています。

○小縣委員（長尾部長）

- ・乗られた方の要望、ご意見など町に届いているものはないか。

○事務局

- ・ホームページや、町長への意見箱などで出してもらっています。

○小縣委員（長尾部長）

- ・そうした意見を広報に乗せてもらえると良いです。利用が増えているが、もっともっと利用

をPRしてもらい、根付いてもらえるようお願いしたい。

○初山会長（武豊町長）

- ・具体的な意見については、少し紹介しましょう。

○事務局

- ・指摘のあった意見としては、車いすの状況で時間がかっている。運転が危なかったという意見がありました。広報には、これまでの意見の取りまとめを報告する予定です。加えて事業の変更の説明資料も掲載する予定です。

○森下委員（老人クラブ）

- ・時間別の利用状況が分かりますか。通勤、通学に使える。通勤者が帰りに利用できるようにしたらどうか。朝を早く、夕方を遅くして、運行時間の変更で、利用を拡大できないか。

○事務局

- ・今のダイヤは、運転手の一人の勤務時間で設定しています。朝夕の時間変更では、二人の運転手が必要になり、事業費の負担が大きく変わる。
- ・時間別の利用状況については、便ごとの利用者数について交通事業者が把握しているので、定期的に報告できるようにしたい。

○各務副会長（武豊町副町長）

- ・ご指摘の点は、当初から出ている意見です。議会でも議論がなされました。
- ・コミュニティバス事業は、福祉的な目的で運行計画を立てています。高校生の利用もどうかという指摘や、通勤利用、飲んだ帰りにも利用できるようにするという意見があります。経費的な問題と、本来の目的から、現状においては、このダイヤがベストだと思っています。
- ・さらに、利用が伸びてきた時に一考したいと思うが、現状の状況を理解ください。

○森下委員（老人クラブ）

- ・効率を考えれば、我々が名古屋にでかけた帰りにバス利用ができれば、利用が増えるのではないか。昼間の利用の少ない時間をやめて、遅い時間に運行するなどの工夫ができないか。
- ・お年寄りの移動については良いと思うが、町外への移動を考えて、17時過ぎの利用ができるようにできれば、利益率が上がるのではないか。

○伊豆原座長

- ・ご意見として受け止めておきたい。ただし、17時以降だけの片方向だけの利用だけでは、仕組みとしてはつらい。朝夕の両方があって利用されるため、片方向の対応だけでは難しい。
- ・経費の問題については、ほとんどが人件費。新たな運転手を投入すると、一段と事業費が大きくなる。そうした意見が多くて需要が見通せれば、そうした仕組みになるかと思うがどうか。
- ・需要を増やすことについては、事務局にお願いするものではなく、みなさんで、話題にさせていただいて、対処すべきこと。

○小縣委員（長尾部長）

- ・福祉を目的とした事業だと思う。通勤、通学まで対処するものではない。同じ議論にならないように、通勤通学に使わない、福祉のためということを確認しておいて欲しい。

○事務局 総務部長

- ・武豊町公共交通網形成計画という交通の計画をもっている。その基本方針において、「お年寄り等が、安全に暮らせ、気軽に移動できる生活の足の確保」を将来像として定めている。この目標像をご理解ください。

○伊豆原座長

- ・ご理解いただけますか。需要を確認しながら、対策を考えましょう。こうした議論はした方がよいので、よい確認ができたと思う。
- ・細かな分析は事務局でいろいろ進めていると思うので、また、何かの機会に報告ください。

●第1号議案 北部赤ルートの一部走行区間及び停留所位置の変更について・・・資料3・4

○事務局

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございます。2箇所のバス停の移設、ルート変更です。ご質問等ありますか。

○奥村委員代理（愛知運輸支局）

- ・実施予定日はいつか。
- ・運行ルートが変わるため、事業計画の変更が必要です。警察、近隣住民の了解は報告されましたが、道路管理者の了解は得ているでしょうか。
- ・運賃の変更は予定していますか。
- ・国の幹線補助の対象になるので、補助金変更の申請を県と調整して、報告ください。

○事務局

- ・実施予定日は協議が整った2カ月後の2月1日をイメージした。
- ・補助金の変更申請は、速やかに行いたい。
- ・道路管理者は町道になるため、町土木課との調整、了解済みです。
- ・運賃の変更はありません。

○伊豆原座長

- ・補助金の関係は、県との調整も必要なので、適切に進めてください。
- ・2月1日は間に合うかどうかは、ちょっと難しいかもしれない。変更日は、事務局は早めに行いたいということだが、関係者と調整して対応ください。

○事務局

- ・利用者に対して説明する期間も必要なので、国等と調整して進めたい。

○伊豆原座長

- ・関係機関との調整、変更のお知らせを含めて実施日は設定する必要があります。申請に要する時間、地元への説明期間を含めて、事務局で関係者と調整し実施日を設定ください。
- ・実施日の設定はそうした対応でよろしいか。

<異議なし>

○伊豆原座長

- ・ありがとうございます。
- ・遅延見直しのための調整は必要です。その他の見直しアイデアがあれば、事務局まで意見をお願いします。
- ・実施日の条件をふまえて、その他の内容について承認を得たいと思います。異議ないとして了解いただけますか。

<異議なし>

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。了承されたとして進めさせて頂く。

●第2号議案 平成28年度地域公共交通確保維持改善事業の自己評価について・・・資料5

○事務局

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。平成28年度改善事業の自己評価について説明をいただいた。
- ・A4の横書き資料は全国共通のもので、本省に提出します。カラー資料は、中部運輸局に提出するもの。A4の2枚は、愛知県に提出するものとなっています。赤ルートは、地域間幹線系統で、市町をまたぐ路線が対象となり、県が認定し、県から補助金を申請するルールになっています。町内だけのフィーダー系統の自己評価は、この法定協議会で議論して国に提出することになっている。中部様式は、昨年から書式が変更されました。それぞれ提出先がちがいますが、カラーの内容を作成すれば、県、国の内容は抜粋すれば作成できるようになるように設定したつもりです。重複しているところがあるのはそうした意味です。
- ・そうした背景がある前提で、ご意見があれば、お願いします。

○奥村委員代理（愛知運輸支局）

- ・記載の方法をお願いします。
- ・別添1について、交通事業者は知多乗合(株)とレスクル(株)となっているが、知多乗合(株)だけでよいです。
- ・中部様式3頁、やられている事業をリストアップされているがその他にあれば記載をお願いしたい。事業内容を具体的に記載し、頁をまたがってもかまわない。利用促進友の会の事業内容、保育園の出張訪問など具体的に記述ください。

○小縣委員（長尾部長）

- ・半田市イオンへ乗り入れしているが、今後、その他の場所として、例えば、半田市の総合病院まではどうか。

○事務局

- ・以前の検討でそうした意見があったと記憶しています。乗り継ぎなしで病院に行きたいという意見はあるが、町が行う事業として適切でしょうか。鉄道駅に接続しており、半田駅からバスに乗り換えて市民病院まで行けますので。

○伊豆原座長

- ・今すぐの回答でなくてもよいが、半田市内を通過するので、半田市との協議が必要となります。将来のご意見として受けておくことにしましょう。

○大岩委員（社会福祉協議会）

- ・福祉目的というご説明があった。社会福祉協議会で、障害者向けボランティア輸送を行っているので、福祉目的なのか、住民の生活の足なのか、事業の目的を再確認したい。

○各務副会長（武豊町副町長）

- ・福祉的な目的と申し上げたが、福祉という言葉の定義は幅広い。
- ・交通計画では、高齢者の生活の足の確保と位置付けている。通勤通学も住民の足になるので、議論の中で範囲を設定すると、福祉的という言葉が伝わるとして発言した。
- ・運転手の費用、人件費の話もありましたが、町がどこまで負担すればよいかを考えていただきたく、広い意味で福祉的という言葉を用いた。理解ください。

○森下委員（老人クラブ）

- ・防災交通課はゆめころんだけを所管するのか。交通に関わる発言をしてよいか。老人会では、交通安全のゼロの日の活動をしている。国道の側道の草の除去をお願いしたい。交差点で交通安全活動をしているが、交差点についても指摘したい。

○事務局

- ・公共交通に関する議論を行いたいため個別要望については直接防災交通課でお聞きします。この交通会議の議論の範囲を超えていますので、ご理解ください。

○伊豆原座長

- ・自己評価とは、自分たちで実施した評価です。この形で国等に報告します。
- ・中部様式の1頁について、（フィーダー路線の位置づけ）という表現があるが、これは削除ください。

○事務局

- ・指摘のとおり削除します。

○伊豆原座長

- ・提出締め切りは1月17日となっているので、それまでは修正可能です。他の指摘のありました事業を具体的に記述するという変更以外に、その他ご意見ありますか。
- ・修正対応については、事務局と私にて責任を持って修正させていただくということで、自己評価の内容についてご同意いただけますか。

<異議なし>

○伊豆原座長

- ・ありがとうございます。適切に対処し、関係機関に報告することとします。

3. その他

○事務局より報告

○利用促進友の会の中部運輸局からの表彰及び活動計画について

- ・10月と12月に乗車ツアーを実施。運輸局長から表彰を受けました。
- ・11月にも産業祭りにてブースをつくりPR活動を行う。サロンでの説明、保育園での利用促進事業を実施しています。

○あいち公共交通ビジョンへの掲載について

- ・愛知県で交通ビジョンの策定が進められている。利用促進友の会の取り組みが県内事例として掲載される予定です。年度内に策定される予定です。

○保育園への出張訪問について

- ・保育園の出張訪問は、今年3月から10園を対象に実施。毎月1園を訪問しています。初めてバスにのる園児もいるようで、来年度も継続していきたい。

○バスナビゲーションシステム「ナビタイム」との連携について

- ・前回会議で報告したが、8月から連携を開始した。QRコードをスマホでよみとると、コース・ダイヤが検索できます。月平均で11件の利用でまだ少ないが、引き続きPRしていきたい。

○伊豆原座長

- ・局長表彰ですから。胸をはってもらってよいことです。年2団体ぐらいの選定なので大変名誉のあることです。地元で話題にしてほしい。

○山口委員代理（愛知県）

- ・愛知県交通ビジョンは、今日から1月18日までパブリックコメントを実施しています。ホームページにて公開していますので、是非ご覧ください。

○伊豆原座長

- ・苦心して作成されている。是非ご覧になって頂いてご意見をください。
- ・予定している議事は終了しました。せつかくの機会ですから、ご意見があればいかがか。

○森田委員（議会議長）

- ・公共交通については、議会でも一般質問されているが、当局がしっかり対応していることを回答として受けている。中部運輸局長表彰なども報告をうけている。
- ・当局がしっかり考えてやっていただいていることについて、部長以下担当者に感謝を申し上げたい。

○小野委員（大足区長）

- ・知多乗合(株)からレスクル(株)に交代した件について、会社概要など簡単に紹介いただきたい。

○鶴田委員（レスクル(株)・交通事業者）

- ・10月から運行を担当することになりました。
- ・美浜営業所がある。7年前から貸切バス事業でスタートし、3年前から南知多町のうみっこバス事業を対応している。会社としては、経験は乏しいが、ひとつひとつ丁寧に、安全運転を全うしようと努力している。ご意見を検証して対応したい。
- ・ドライブレコーダーによる現場、事実確認ができるため、ドライブレコーダーの設置を検討できればありがたい。
- ・美浜営業所以外に、知多市にも知多営業所を配置している。地域の発展にお手伝いしていきたいと思うのでよろしくお願いしたい。

○伊豆原座長

- ・他よろしいか。進行を事務局にお返しします。

4. 閉 会

○初山会長（武豊町長）

- ・長時間、ご議論いただきありがとうございます。貴重なご意見数多く頂いた。伊豆原先生進行ありがとうございました。
- ・修正すべきは点は修正し、自己評価は国・県に提出したい。
- ・利用促進友の会は協働のまちづくりの最たるもので、住民と一体となって活動を進めたい。
- ・コミュニティバスは、年末と正月は運休しますが、来年もたくさんの乗車を期待すると共に、皆さんに感謝を申し上げ、閉会の挨拶としたい。

○事務局

- ・以上をもちまして、第24回会議を終了させていただく。次回は3月下旬を予定。ありがとうございました。

以上